

田辺運輸 株式会社

DX宣言書

2025年7月16日
田辺運輸 株式会社
代表取締役 小柳 照一

□ 経営理念

築きあげてきた信頼をより堅固に

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 業務プロセスの継続的な改善を行い、変化する市場環境に適応することで、持続可能な成長を目指します
- ◆ デジタル技術を活用して柔軟で多様な働き方を推進し、従業員とその家族が幸せに暮らせる未来を築きます

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年3月)

戦略 「デジタル技術の活用による継続的な業務改善の実現」

施策 ・ 全体の業務効率化に向け、デジタル技術を用いて課題を解決し、業務を改善
【具体例】

- AIを活用した配車管理・受発注システムを導入
- 基幹システムとデジタルタコグラフをつなぐRPAを導入し、データ連携を自動化
※デジタルタコグラフ…自動車運転時の速度・走行時間等の情報をメモリーカード等に記録するデジタル式の運行記録計
- ・ DXの取組状況および成果を社内で定期的に発信し、成功体験を共有
- ・ DXの取り組みを着実に進めるため、DX実行計画を策定のうえDX認定を取得

➤ フェーズ2(2026年4月 ～ 2027年3月)

戦略 「デジタル化による業務プロセスの改革」

施策 ・ フェーズ1の成功体験を活かし、業務全体の課題についてDX実行計画の優先順位に基づき改善策を
実行

【具体例】

- 運送引受書、運行計画書、運行指示書の作成を自動化することで、手入力作業を削減
- 上記書類や、運送依頼書、実運送体制管理簿を一元管理することで、転記作業を削減
- 会計ソフトやRPA等を活用し、仕訳伝票の処理を自動化することで、人為的な入力ミスを防止
- ・ デジタル化に伴う新しい業務プロセスに対応するため、操作マニュアルや運用フロー等を整備

➤ フェーズ3(2027年4月 ～ 2028年7月)

戦略 「全社的なDX推進の実施と、人材育成・採用の強化」

施策 ・ フェーズ1、2の成功体験を各課に展開し、会社全体をDX化することで生産性を向上
・ 従業員の定着率を向上させるためのステップとして、管理者の業務経歴や資格等の情報を基に、各課ごとのキャリアパスを可視化し、成長の道筋を明確化
・ 会社ホームページを活用し、DXへの取り組み等の魅力を発信することで、認知度を向上
・ 各業務において従業員が自発的にAIを活用することで、更なる業務効率化を実現

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| ・ 配車管理・受発注システムの導入 | ： 完了(～2026年3月) |
| ・ 基幹システムとデジタルタコグラフ間のデータ連携の自動化 | ： 完了(～2026年3月) |
| ・ DX認定の取得 | ： 完了(～2026年3月) |
| ・ 仕訳伝票処理の自動化 | ： 完了(～2027年3月) |
| ・ DX取組状況等の社内発信 | ： 月1回以上(～2028年7月) |